

ISS 実行委員長

羽田 宜弘

第 4 回 ISS (International Student Symposium) の 開催と活動成果

去る 2021 年 8 月 29 日 (日) に、主催材料技術研究協会による International Student Symposium 2021 (ISS2021) を公益財団法人東京応化科学技術振興財団及び東京エレクトロン (株) の助成及び NPO 法人健康福祉工学会の後援を得て、ISS2021 を昨年度と同様オンラインで開催したので、内容について報告をする。

今年度も新型コロナウイルス拡大の影響を受け、オンライン開催を行なった。コロナ禍で教育活動がほとんどの学校でストップしていた時期にも関わらず、ISS に向けて研究や探究活動がされていた高校、大学、大学院の生徒や学生らと教職員及びなど総勢 108 名の参加申し込みがあった。

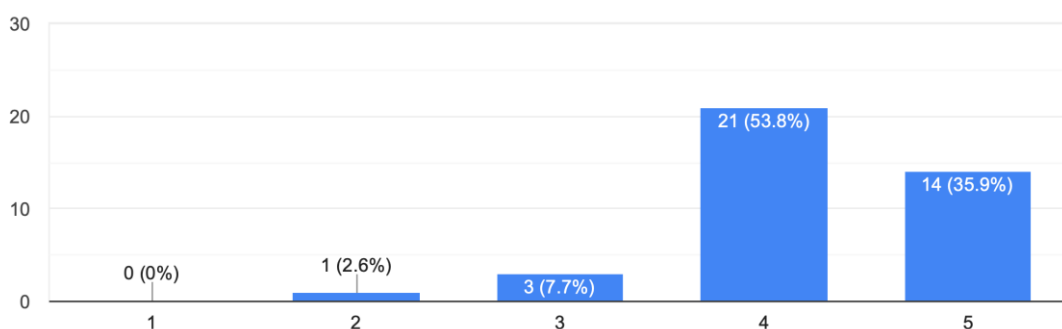
ISS は、材料技術研究協会が取り組む、「次世代サイエンティストの育成」というテーマを掲げ、専門家の発表する学会という高い敷居を設けず、生徒や学生ら限定の日々の研究、探究成果の発表の機会を創出することと次世代の科学

者を目指す若者らの交流と科学教育に貢献する目的としてスタートし、今年度で4年目を迎えた。当日は、口頭発表9件、ポスター発表15件の大変多くの分野の課題研究や探究活動の発表がされ、他に類を見ない発表の機会となっており、新たな価値を創出する上でのヒントになっているものである。

また、ISSでは、特に優秀であった発表に対して賞を授与しており、材料技術研究協会の理事らの専門家が各発表の審査にあたり審査基準に基づき厳正なる審査を行い、ゴールド賞、シルバー賞、ブロンズ賞が選出され表彰された。

また開催後のアンケートにおいては以下のような結果を得たので、併せて報告をする。

今回のシンポジウムは満足されましたか。

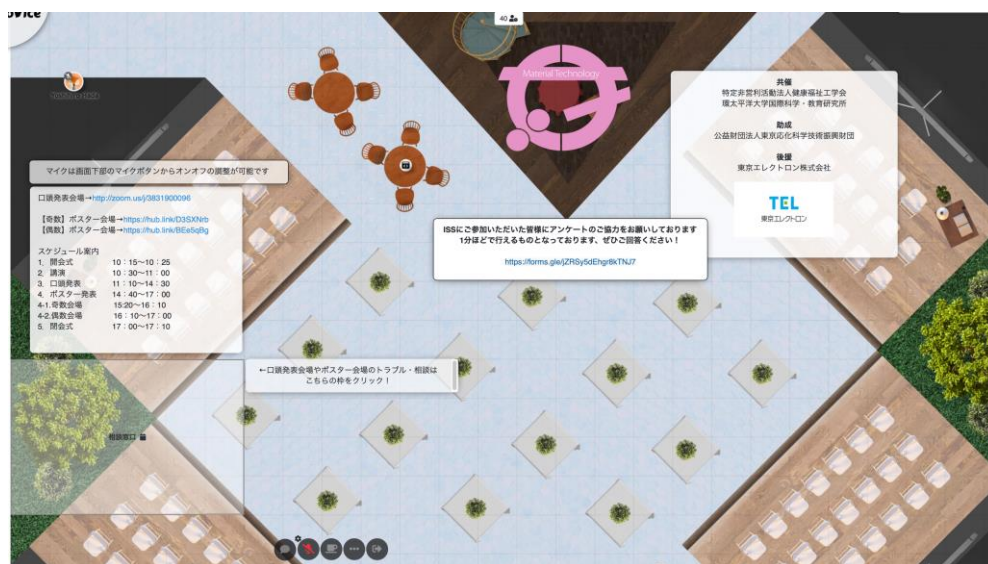


1. 全く満足しなかった 2.満足できなかった。 3. 普通 4. 満足した 5.大変満足

89.7%の参加者が満足または大変満足と答えており、本シンポジウムの高い満足度が示された。

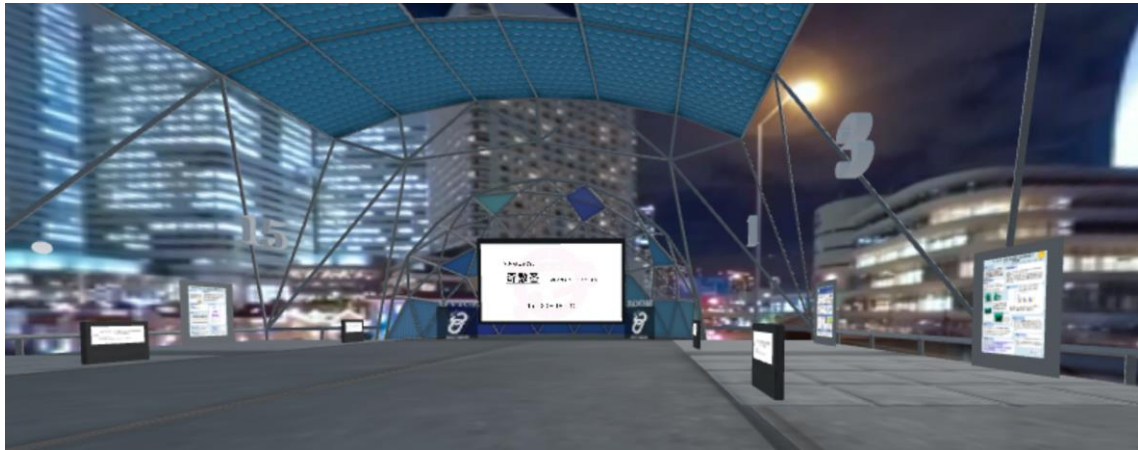
今年度は ZOOM による発表だけではなく、「Ovice」という新しいアプリケーションでの学会会場を設置し、バーチャルで交流ができるように工夫をした。

※参考イメージ



また、ポスター会場は、リアルなポスター会場に近づけるため 3D での空間を制作し、若者が親しみやすい新しい環境での発表会場を用意した。

※参考イメージ



こちらの 3D の会場は、無料のプラットフォームを利用して、作成したもので、会場に多くの人アクセスすると人数制限がかかるなど、満足度のいく形でのポスター発表はできなかったが、ZOOM だけでは難しいオンライン上での学会発表の課題に対してチャレンジし、取り組めたことは参加者からも良かったという声が聞こえた。

次年度についても、工夫や改善をしながら、本事業に取り組んでいきたい。

最後に、この ISS を開催するにあたり、ISS 実行委員の協会理事の皆様、事務局及び助成や後援として多大な協力をいただきました組織の皆様にご心からお礼を申し上げます。